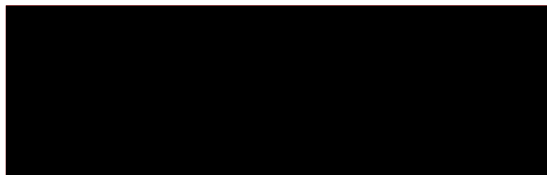


中学校音楽科学習指導案

日時



1 題材名 詩の内容と曲想との関わりを感じ取ろう

2 使用する楽曲 「魔王」 シューベルト作曲 ゲーテ作詞

3 題材の目標

- ・詩を手がかりとしながら、旋律や強弱、伴奏の変化によってどのような効果が生み出されているのかを感じ取る。
- ・様々な演奏を聴き比べて、それぞれの表現の違いを感じ取る。
- ・感じ取ったことを言葉で表現することで、音楽を形づくっている要素と、曲想との関わりを深く理解する。

4 題材設定の理由

(1) 題材観

本題材は、中学校学習指導要領音楽第1学年B鑑賞ア「音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを感じ取って聴き、言葉で説明するなどして、音楽のよさや美しさを味わうこと」に基づいて構成されており、〔共通事項〕のうち、音色、旋律、強弱を扱う。

「魔王」は1815年、シューベルトが18歳の時に作曲したリートである。この曲は、伴奏のリズムの変化や、強弱、旋律の高低などの音楽の特徴が分かりやすく、また、詩も「語り手」「父」「子」「魔王」という4つの登場人物の対話形式で、進行し、人物ごとに声色を工夫して歌うことから、曲想の変化をとらえやすい構成となっている。

(2) 生徒の実態

1年生は、授業態度も真面目で明るい生徒がとて多い。グループ活動でも積極的に参加している。発言も多く、活発な意見交換が期待される。

5 題材の評価規準

音楽への関心・意欲・態度	鑑賞の能力
【関①】 詩の内容と曲想との関わりに関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 【関②】 声やピアノの音色、登場人物の心情や情景を表した旋律、強弱の変化と曲想との関わりに関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。	【鑑①】 声やピアノの音色、登場人物の心情や情景を表した旋律、強弱の変化を知覚し、それらの動きが生み出す特質や雰囲気を感じ受けている。 【鑑②】 知覚・感受しながら、音楽を形づくっている要素や構造と曲想との関わりを言葉で表現し、その発表を互いに聞き合うことで、さらに曲の持つ美しさを理解できる。

6 題材の指導計画（総時数2時間、本時は2／2時間）

時	学習内容	評価規準
1	○詩の内容と曲想との関わりに関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組む。 ○声やピアノの音色、登場人物の心情や情景を表した旋律、強弱の変化を知覚し、それらの動きが生み出す特質や雰囲気を感じ受ける	【関①】（観察） 【鑑①】（観察、ワークシート）
2	○さまざまな演奏を聴き比べて、その表現の違いを感じ取り、さらに場面の描写や登場人物の心情の変化と旋律や強弱、伴奏の所の音との関わりを確認する。 ○シューベルトの音楽表現や他の作品についてDVDを鑑賞することで理解する。 ○感じ取ったことを言葉で表現することで、音楽を形づくっている要素と、曲想との関わりを深く理解する。	【関②】（観察、ワークシート） 【鑑②】（観察、ワークシート）

7 本時の指導

時間	学習内容	備考	評価方法
導入 5	○めあての確認 詩の内容と曲想との関わりを感じ取って聴こう ○前時の復習	・前時の内容を黒板に板書し、授業開始と同時に復習を行う。	
展開 35	○実際に歌っているところを DVD で鑑賞する。 ○表現の違いや曲想との関わりを感じ取る。 ○作曲者についての DVD を視聴し、他の作品をプリントに記入する。 ○「魔王」の特徴について文章にまとめる。 ○グループで、紹介文を発表する。 ○各グループの代表の発表を聴き、「魔王」のよさや美しさを深く理解する。	・表現についての的確に聴き取っている感想を板書する。 ・リートについて再度説明する。 ・ヴィヴァルディ、ベートーヴェンを含めて時代区分の位置を確認する。 ・要素や曲想の変化に注目させて記入させる。 ・グループの設定や、発表順をあらかじめ指示する。 ・発表の中で、参考になった紹介文を自分	【関②】(観察、ワークシート) 【鑑②】(観察、ワークシート)

		のプリントにメモさせる。	
終末 5	○本時の振り返り	・発表の中で、もう一度確認する。	